

分科会5 充実させよう、薬剤師の生涯学習 —応えられる薬剤師となるために—

W-05-04

「デザインする自発的学習」 石川県薬剤師が取り組む生涯学習の方向性

なかもり けいじ
中森 慶滋

(社)石川県薬剤師会 常任理事

OECD（経済協力開発機構）は「Recurrent Education: A Strategy for Life-long Learning, OECD（1973）」と題するレポートを発表した。レポートでは「個人の全生涯にわたる教育とは、仕事を主として余暇や引退などといった諸活動と交互にクロスさせながら回帰的に分散すること」として生涯学習を提唱している。

また1972年にユネスコの教育開発国際委員会は報告書「Learning to be」を提示した。知識や学歴やキャリアなどをたくさん「持つ」ことに社会的な価値を見出すのではなく、人間として存在すること（be）、「どこで学んだか」の学歴ではなく、「何をどれだけ学んだか」を【学習】にとらえる考え方である。これはエーリッヒ・フロムの著作「生きるということ」の原題「To Have or To Be?」からもわかるように、それと思想を共通している。

○石川県薬剤師会の生涯学習の取り組み

『石川県薬局薬剤師リフレッシュ講座 2002-2005』

『石川県薬局薬剤師グレードアップ講座 2005-2008』

『石川県薬局薬剤師スキルアップ講座 2008-現在』

石川県薬剤師会は薬局薬剤師の資質向上を目的とする講座「石川県薬局薬剤師リフレッシュ講座」を開設し、2002年9月より2005年8月までの3年間行った。この講座では薬局薬剤師に必須と考えられる23項目を網羅し1回3時間の講座を1ヵ月に2回、県内3会場で統一したカリキュラムを実施した。そのため3年間では合計時間213時間という（3会場合計639時間）膨大な内容の講座が実現した。

運営は本部運営委員会を設置し、本会徳久和夫会長（当時）の号令のもと、薬事センター長（当時）の古本義明氏が担当としてこの任にあたった。アドバイザースタッフとして金沢大学、北陸大学、金沢大学病院、金沢医科大学病院、国立病院医療機構金沢医療センターから委員を構成した。そのため薬学部教員、医学部教員、医師、行政職員、薬剤師会の内部講師など多方面にわたる講師陣を確保することができた。一方、製薬メーカーによる講義は特殊な項目を除き極力排除した。

1年次末の受講者数は421名。これは厚生労働省統計（2002年）の石川県総薬剤師数802名の52.0%であった。講座終了時には認定委員会による研修終了認定を行った。

その後、上記にあるように3年間をユニットとする講座が現在まで継続可能な規模の適正化を図り開催されている。これらの講座が薬剤師の学習行動を習慣づけることとなり、財団法人日本薬剤師研修センター（認証番号：G01）が認定する認定薬剤師の取得率は全国第1位を長く維持してきた。

○薬剤師認定制度認証機構が石川県薬剤師会の認定薬剤師研修制度を認証

2008年6月18日、薬剤師認定制度認証機構（CPC）より本会の認定薬剤師研修制度が認証（認証番号：G08）された。これは薬剤師の研修成果を認定する「生涯研修プロバイダー」である。本会本部の研修システムを構成するものとして、先にあげた「3年間の研修講座」と6年制の薬学生が行う薬局実務実習を指導する薬剤師養成を目的とする「薬剤師薬局実務研修講座」を、本会副会長の吉藤茂行氏はメインに位置づけた。「薬剤師薬局実務研修講座」は1回6人程度の少人数で行う実習研修と、現場が必要とする最新の知識の確認を目的とする講義形式で構成した。このシステムにより「学ぶ⇔指導」のサイクルが形成された。

○石川県薬剤師会が目指す生涯学習の方向性

生涯学習とは、学習者が自身の資質の向上を目的とし自律的にデザインすることと考える。これは「水準に追いつく義務」に必要とされる知識を最低限としたうえで、薬剤師が現場で必要とされる知識は個々それぞれ違うことを意味する。そのため多様な領域の講座が提示され自由に選択できることが要求される。また知識の習得には期限がないことから継続性が重要であるとして、受講料の設定を考慮することも必要である。本会では石川県の県費補助を受けることで運営環境を整備した。

生涯学習を自己責任のもとで行い、薬剤師が必要な資質と能力を備えていることの客観的証明として薬剤師は認定薬剤師の認定を受ける必要がある。一般的に研修会など生涯学習の主催母体は薬剤師会が中心となっている。研修内容を把握する薬剤師会自ら認定にあたるのがCPCの意図することと理解し、石川県薬剤師会は認定薬剤師研修制度の認証を取得した。

これまで取り組んできた石川県薬剤師会の試みは、薬剤師の新たな生涯学習の方向性を提示するものと考えている。